

長春市との市長等によるオンライン会談（令和2年10月27日）

長春市長挨拶全文（日本語仮訳）

尊敬する郡和子市長、佐々木謙会長、仙台市の友人の皆様、こんにちは！長春市と仙台市の友好都市締結40周年にあたり、郡和子市長、佐々木謙会長とオンライン会談の形で共にこの記念日をお祝いできることを、大変嬉しく存じます。新型コロナウイルスは一時私どもの相互訪問を障碍しましたが、両市の40年にわたった緊密な友情を切ることができません。まず、長春市政府と850万人の長春市民を代表し、郡和子市長、佐々木謙会長、並びに仙台市全体市民に向け、心よりご挨拶を申し上げます。両市の友好のために貢献をされた各界の方々に向け、心より感謝の意を申し上げます。

40年前の本日、仙台市は長春市と最初に友好関係を結んだ国際都市になり、それから、両市は同じ方向に向き合い、手を携えて前に進み、友情の花は競いながら次々と咲き、協力の木はたくさん実ってきました。40年来、両市は代表団を相互派遣し、お互いに都市展示会を開催したことで、相互理解が絶えず深まってきました。共同で経済会議を開催したことで、企業間の交流が強化され、経済貿易協力が絶えず深化してきました。両市は見守りながら助け合い、洪水、地震、津波、SARS、新型コロナなどの災害を共に乗り越えました。現在の長春市には、南北を縦断し、広々として滞りなく通じる「仙台ストリート」があり、仙台市にも、「長春号」バスがあり、市民のためにサービスを提供しています。両市間の緊密な交流、深い協力、豊かな成果は友好都市におけるモデルとなっています。

ここ数年、長春市は経済社会発展が飛躍的な進歩を遂げました。今年感染症に襲われた不利な環境にもかかわらず、健全な発展の勢いを保っています。我々は感染症の予防抑制と経済社会発展の促進を統合的に計画し、現在まで8ヶ月連続で新たに確認された感染者は出ていません。第1～3四半期のGDPは3.1%増え、規模以上工業生産高、固定資産投資などの主要指標の成長率は、瀋陽、ハルビン、大連の先頭に立ち、中国東北地方の四つの主要都市においてトップを占めています。長春市はビジネス環境、都市建設、民生保障をはじめとする各事業も新たな成績を収め、今年、「中国十大幸せな生活都市」に選ばれました。

7月22日から24日まで、習近平中国共産党中央委員会総書記、国家主席は自ら吉林省わが市を視察した際に、「わが国が北に向かって開放する重要な窓口と東北アジア地区協力中核をしっかりと作り上げよう」という要求を出しました。目下、全市を上げて長春国際自動車城、長春国家区域イノベーションセンター、長春インタームービーメトロポリス及び中韓（長春）国際協力モデル区という「四大プレート」の構築に力を入れ、国内大循環を主体とする国内国際双循環が相互促進する新たな構造に全面的に溶け込んでいます。さらに、我々は、今年9月25日、習近平出席が貴国新任の菅義偉首相

との電話で提出した「互惠協力を深化させ、人文交流を拡大し、新たな時代の要請に合致する中日関係の構築に努めよう」という重要な主張をしっかりと実行し、日本、とりわけ仙台を含む友好都市との交流を強化し、各分野における協力を絶えず深化させます。仙台市が積極的に長春をPRし、日本各界と長春市との相互信頼、協力拡大を推進し、中日友好のために共に新たな貢献をすることを心から願っております。

最後に、仙台市が感染症に打ち勝ち、更なるご発展を心から祈っており、郡和子市長、佐々木謙会長が長春を友好訪問し、共に友情を話し合い、発展を図り、未来を展望することを祈念いたします。